

令和7年3月10日 佐藤

～ 終戦から今年で80年。「平和への願い」を一羽一羽の折り鶴に込め、オブジェを制作 ～

10万羽もの折り鶴を使った高さ約13メートルの巨大アートが完成

本日より、区役所1階アトリウム（墨田区吾妻橋 1-23-20）にて、平和祈念イベント『28万人の平和メッセージ』がスタートしました。会場の壁面いっぱいに作られた巨大折り鶴アート『平和のオブジェ』の展示と、区民や各界の著名人からの「平和への願い」が綴られたメッセージやイラストを展示する『平和メッセージ展』を開催中。本事業は平成4年（1992年）から始まり、今回で34回目となりました。

完成した『平和のオブジェ』は、区民や区役所を訪れた来庁者、ボランティアなどの協力のもと折られた約10万羽の折り鶴を使い、区役所の吹き抜けの壁面（高さ約13.5m×幅約7.5m）に「平和への願い」を表現したもので、毎年デザインを変え、制作、展示しています。今年のタイトルは『終戦から80年～歴史から学び、未来へ～』。完成したオブジェは令和8年3月までの約1年間展示します。

また、オブジェのお披露目に合わせて、新日本フィルハーモニー交響楽団による『平和祈念コンサート』を開催。弦楽四重奏で6曲を演奏し、来場した200人を超える観客に、音楽で平和への想いを届けました。

『平和メッセージ展』では、全816通（区内外の小学生16校635通、一般138通、著名人43通）のメッセージを展示。「毎日ご飯と学校に行けることが幸せです。毎日平和なのが一生過ごせますように」という小学生からのメッセージなどに加え、海老名香葉子さん、王貞治さん、五街道雲助さん、黒柳徹子さん、ちばてつやさんら各界を代表する著名人からのメッセージなど、それぞれの「平和への願い」が込められた葉書がずらりと並びます。

さらに、過去に平和のオブジェで使用した折り鶴を、再生紙として生まれ変わらせ、メッセージの台紙などとして活用し、平和への想いを紡ぐ新たな取り組みも今年からスタートしています。

来場した方は「感動的なコンサートだった。明るい未来につながるといいなと改めて思った。」「初めて見たが、オブジェの大きさにとても驚いた。」「オブジェ制作のボランティアに参加した。大変な作業だったが、完成を見て、心から参加してよかったと思う。」と話していました。

今年は、終戦80年の節目の年です。第二次世界大戦が終わって間もない昭和22年（1947年）、本所・向島の両区が一つになり、墨田区が誕生しました。当時の人口はわずか14万人でしたが、やがて焼け跡に住宅や工場が建ち、「産業のまち」として復興しました。急速な経済発展のなか、大型店舗やスーパーも進出し、道路などの生活環境もどんどん整備されました。度重なる災害を乗り越え、現在のすみだは築かれています。展示をとおした平和への想いと、明日のすみだの飛躍への願いを今後も発信し続けます。

《概要》「28万人の平和メッセージ」

震災・戦災という大きな災害を二度経験した本区では、平成元年（1989年）に「墨田区平和福祉都市づくり宣言」として、世界の平和と人々の福祉向上の実現に一層努力すること宣誓。

「28万人の平和メッセージ」は、この宣言に基づき、未来にわたって国内外に平和が実現するように、と願いを込め、毎年、東京大空襲があった3月に開催。イベント名の“28万人”は区の人口からとっている。

■ 平和のオブジェ

【展示期間】 令和7年3月10日（月）から約1年間

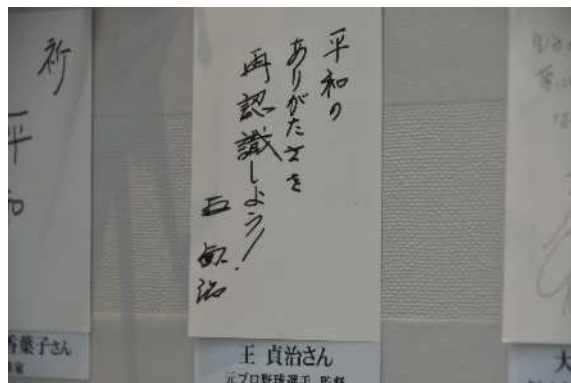
【会場】 墨田区役所 1階アトリウム



■ 平和メッセージ展

【期間】 令和7年3月10日（月）から3月20日（木）まで（時間：8時30分～21時00分）

【会場】 墨田区役所 1階アトリウム



※メッセージをいただいた著名人は別添一覧を参照

■ 平和祈念コンサート

【日時】 令和7年3月10日（月）正午から13時00分まで

【会場】 墨田区役所 1階アトリウム

【演奏】 新日本フィルハーモニー交響楽団

【曲目】 バッハ／G線上のアリア

ハイドン／弦楽四重奏曲「皇帝」より 第1、2楽章

ドヴォルザーク／2つのワルツ

J.シュトラウスII／美しく青きドナウ

J.シュトラウスII／トリッチ・トラッチ・ポルカ

坂本 九メドレー



《問合せ》 地域力支援部 文化芸術振興課 TEL 03-5608-6181

※ お問い合わせは、午後5時までにお願いいたします。（広報広聴担当 TEL 03-5608-6220）